

県立有田中央高等学校清水分校 学校運営協議会

令和4年度 第1回【6月2日(木)】

出席者：委員7名、オブザーバー2名、学校関係者1名

議題

- ① 会長及び副会長の選出
- ② 公開授業
- ③ 学校運営に関わる基本的な方針について
- ④ 清水分校の現状について
- ⑤ 意見交換・その他
 - ・ 県立高等学校教育の充実と再編整備に係る原則と指針(令和4年3月)について
 - ・ 清水分校の今後について、他

議論した主な内容

- ① 学校運営協議会委員の紹介の後、会長・副会長が選任された。
- ② 2限目の授業を参観し、意見交換を行った。

「電子黒板等ICTを有効に活用していた。」、「一対一の授業で生徒は気を抜けないが、恵まれた環境だ。」、「先生と生徒の距離感が近く丁寧な授業であった。」などの感想があった。
- ③ 学校運営に関わる基本的な方針について学校長から説明し、承認された。
- ④ 総務部長から、地域学習・交流、進路状況等について説明があった。
 - ・ ふるさと体験(1年)、キャリア体験(2年)、介護・福祉体験(3年)
 - ・ 学校運営協議会委員が関わった新たな取組、学習機の拡張キット開発等
 - ・ 昨年度学校運営協議会の議論をふまえた取組
 - ・ 有田川町路線バス定期券購入助成金、地域小学校・中学校の児童生徒数の推移
- ⑤ 県立高等学校教育の充実と再編整備に係る原則と指針について学校長から説明
清水分校の今後についての意見交換
 - ・ ウッズサイエンス・林業体験をアピールし生徒数の確保ができないか。
 - ・ 京都大学だけでなく、他の大学との連携も検討してはどうか。
 - ・ 卒業生の保護者として、手厚い指導がありがたかった。この点をアピールする。

具体的な取組・活動

- ・ 地域との連携をさらに深め、ウッズサイエンス等林業体験を充実させる。
森林の維持、木材の生産から加工流通までの学習・体験に取り組む。
- ・ 少人数を活かした取組をアピールし、生徒数の確保につなげる。